

TAXUS stent

Express stent (Boston Scientific Corporation)に Paclitaxel をポリマーコーティングした drug-eluting stent である。薬剤の溶出に、slow release と moderate release という2種類の放出パターンがあり、ポリマーコーティングの厚みの調節を用いている。いずれも極めて緩徐な放出であり、数ヶ月経過しても大半はポリマーの中に残っている。

Paclitaxel (北米大陸北西部に生息する針葉樹林である pacific yew tree から精製)

婦人科系悪性腫瘍や乳癌・肺癌などに用いられる抗癌剤で、増殖能の高い細胞の細胞分裂を停止させる(これにより細胞選択性を持つことになる)。高容量だと cell cycle の G2 M 期や M G1 期を抑制し cell death を起こすが、低容量だと G0 G1 期を抑制し、cytostatic な作用を持つとされている。

臨床成績

TAXUS I-VI (I-III: NIR stent, IV以降は Express stent)

TAXUS I: 再狭窄 0%

TAXUS II: slow release, moderate release とともに有意に再狭窄率抑制

TAXUS IV(slow release): 再狭窄に加え、再血行再検や心筋梗塞などのイベントも抑制

TAXUS VI(moderate release): 病変長 20mm 以上の長い病変を対象でも好成績

ステント内血栓症は Cypher と比較して差はない。(180 日以後も含めて)

今後は AMI に対する **HORIZON AMI** や 3 枝疾患に対する **SYNTAX** の結果が待たれるところである。

また、platform が **Liberte stent** に変わる。